

土地の形質変更等設計説明書

行為の概要

1 宅地の造成、土地開墾その他の土地の形質の変更	行為の種類別					
	敷地面積	平方メートル	行為面積	平方メートル		
	行為後の土地の利用目的					
	生ずるのり面の最高の高さ	メートル				
	移動土量	切土	立方メートル	客土	立方メートル	
		盛土	立方メートル	その他（ ）	立方メートル	
	緑地の面積	平方メートル	内訳	自然の緑地	平方メートル	
				人工の緑地	平方メートル	
	緑地率	パーセント（ $\frac{\text{緑地の面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$ ）				
	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	その他	
新植		本	本			
既存		本	本			
移植		本	本			
計	本	本				
石の類採取	採取区域面積	平方メートル	採取量	立方メートル		
	採取土石類の種類					
	採取方法	(ア)横坑堀 (イ)たて坑堀 (ウ)斜坑堀 (エ)その他（ ）				
	運搬方法					
	採取後の跡地の処理方法					
3 水面の埋立て又は干拓	行為の種類					
	行為後の土地の利用目的					
	水面面積	平方メートル	行為面積	平方メートル		
	施工方法					
4 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	堆積物の種類					
	敷地面積	平方メートル	規模	水平投影面積	平方メートル	
	行為面積	平方メートル		堆積物の最高の高さ	メートル	
	運搬方法					
	堆積物を除却した場合の跡地の処理方法					

断面図等に最高の高さ部分を表記

土量については計算をした図面を作成してください

建築物の新築が同時施工でない場合また、建築物の計画がない場合等の植栽については「植栽の猶予」が受けられる場合があります。

- 備考
- 1 該当の番号及び符号に○印をつけ、その他に該当する場合は、当該事項を具体的に記載してください。
 - 2 移動土量のその他に該当する場合は、搬出残土等の事項を具体的に記載してください。
 - 3 土石の類を採取し、又は堆積物を除去した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記載してください。
 - 4 変更の場合には、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるようにし、変更後のものを朱書してください。他の添付図書についても同様にしてください。

土地の形質変更等設計説明書記入要領

1. 行為の概要

①行為の種別

宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更、土石の類の採取、水面の埋立て又は干拓、屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積のうち該当するものを記入して下さい。

②敷地面積と行為面積

敷地面積と土地の形質変更を行う面積（行為面積）を記入して下さい。

③行為後の土地の利用目的

具体的な利用目的（住宅等）を記入して下さい。

④生ずるのり面の最高の高さ

「生ずるのり面の最高の高さ」とは、土地の切り盛りで生ずるのりの高さのことで、擁壁等を設置する場合はその高さのことをいいます。行為後ののり面の最高の高さを記入して下さい。

⑤移動土量

造成の内訳を記入して下さい。

⑥緑地の面積

実際の緑地面積を記入してください（許可基準緑地率により算出した面積ではありません）。

⑦緑地率

$(\text{緑地の面積} / \text{敷地面積}) \times 100\%$ ※小数点以下第3位を四捨五入して第2位止とする。

⑧植栽の内訳

高木・中木の新植、既存、移植別の本数を記入して下さい。その他には高木・中木以外の低木等の樹木数を記入して下さい。現況植生図、植栽計画図を添付して下さい。なお、「植栽猶予の誓約書」の提出により、植栽の猶予を受ける場合でも、植栽計画が必要です。

2. 添付書類 ※これ以外に各行為共通書類が必要です

①平面図（600分の1以上）

変更前（現況）は点線、変更後は実線で記載してください。図面の切土部分は黄色、盛土部分は緑に着色して下さい。

②断面図（600分の1以上）

変更前（現況）は点線、変更後は実線で記載してください。

③植栽計画図

保存する木竹、伐採する木竹、移植する木竹及び新たに植栽する木竹を色分けし、木竹名、高さ・周径・枝張り、本数等を記載してください。各木竹には、通し番号を表示してください。

- ・ **新植**：記号を○で囲み、緑に着色
- ・ **移植**：記号を◎で囲み、橙に着色。移植前は、で記載。
- ・ **保存**：記号を△で囲み、黄に着色
- ・ **伐採**：記号を□で囲み、赤に着色

④緑地求積図

三斜求積の方法による求積図を添付して下さい。

⑤地形図（1000分の1以上）

既存の建築物・工作物、木竹等についても記載して下さい。

⑥のり面断面図（50分の1以上）

生ずるのり面の最高の高さを表示して下さい。変更前（現況）は点線、変更後は実線で記載し、あわせてのり面処理材料を記載して下さい。

⑦土量計算書

根拠図を添付して下さい。

⑧現況植生図（200分の1以上）

保存する木竹、伐採する木竹、移植する木竹及び新たに植栽する木竹を色分けし、木竹名、高さ・周径・枝張り、本数、保存・移植が不可能な理由等を記載し、併せて伐採後の土地の利用状況を記載して下さい。各木竹には、通し番号を表示して下さい。

山林等で樹木が密集している場合には、サンプリングによる現況調査も可能です。サンプリングが必要な場合には、担当へご相談下さい。